



NCDs 研修で同行した保健省スタッフとボランティアと互いの進捗確認中。

NCDs 研修の成果が少しずつ

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

今号では、今年 2 月中旬に参加した JICA 大洋州 NCDs（生活習慣病）広域在外研修において、私たちが掲げた活動計画とその実施状況をご報告します。

①家庭菜園の普及：任地エウア島の全 15 村から、発信力の強い村長夫人を招集し、女性委員会を立ち上げました。初回では主に家庭菜園の普及について協議され、各村の人口に合わせた共有の畑を準備し、農業省スタッフが巡回、

次回の委員会で準備の進行度を報告することで決定。②栄養指導やエクササイズ等の生活習慣病予防に向けた啓発活動：各村の代表者と日程調整しながら、クッキングデモ等を実施する予定です。任地では指導に必要な調理器具が不揃いなため、首都オフィスとの連携を図



エウア女性委員会の様子。家庭菜園普及について話し合います。

り、資金を工面した上で、実行に移します。また、女性委員会では、現地スタッフの提案で、世界食料デーに合わせ、エウアフードデーを制定し、島内で健康的な食事について考える日を設けようとの検討もなされました。③保健省との合同企画：NCDs 研修に同行した保健省と合同会議を実施し、活動や進捗状況を互いに報告。また、農業省スタッフ向けの身体測定、血圧・血糖値測定にも協力してもらいました。日本のように、地方自治体や会社で健康診断を行うことではないため、自らクリニックに赴かなければ、知り得ない自分の健康状態。NCDs 予防の指導者となる私たちも自分の身体を知り、健康管理の意識を改めるという意味で、一歩前進です。どこまで具体化するかわかりませんが、協同企画として、クリニックに菜園を設け、野菜摂取を促す取り組みも計画中です。

以上、これらのアクションは、全て現地スタッフ中心で指揮が執られました。隊員が起こしたアクションでも現地の人たちが主体でないと継続しないことが多いため、改善に向けての第一歩が踏み出せたかと嬉しく思っています。次なる課題は、「継続」。継続の根本にある自主性をいかに見出すか、私の力量が試されそうです。



保健省に協力いただき、配属先で身体測定と血糖および血圧検査。スタッフ全員、ちょっと緊張していました。